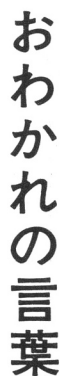


発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(254)7543
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(582)8541

昭和五十四年三月十七日、ベトナム
ング海域上において事故死。

986 宮城県石巻市門脇字青葉東

ふり返つて



宮城県石巻市立蛇田小学校

四年
阿部
睦美

お父さんどうして死んでしまったの？
いつものように、にこにこしながら、
船に乗って行つたのに、どうして帰つ
て来た時は、だまってばかりでなにも
言ってくれないの。

どうしても、見つけられずに、帰った時がありました…。

後から話を聞いてみると、すずみに行つて、そのまま、その場にねていたそうです。

お酒を飲むと、顔を真赤にしてほがらかになるお父さん。

んと私だけしか祝ってやれないなんてさびしい気持ちでいっぱいです。

死の意味すら知らず、何も理解する事が出来ない、人が多く集まるだけでうれしい妹や弟…。

船から、上がると、真喜や、真由美がだきついて、はなれず、つかれてゐるのに、これい上の幸せはないといった顔をして、二人をだいている。

今にでも、げんかんのとを開けて、

そんな、けなげな二人を見ているとお父さんが、ほんとうに、死んだなんて、今だに信じられない。

大声で、「ただいまあ」と、帰つて来るみたいです。これから親子四人かたをよせ合い、はげまし合つて、生きて行きます。

今、思いおこせば楽しい事ばかり、二年前、みんなで、日和山にお花見に行った時、お父さんが、よっぱらつてしまい、一人だけ、いくえ不明になつてしまつた。

天国にいらっしゃるお父さん、みまもって下さい。
さよなら。

注 父は遠洋底びき網漁船乗組員、

はじめてお便りいたします。いつも育英会だよりを有難うございます。

私は主人を船で亡くして、八年目になります。親子四人、幸福な毎日でしたが、長男中学三年、次男小学六年、これから父親の必要な大切な時期に、主人を亡くしました。

働いたことのない私は、四十九日の法事もすまないうちから働くことになりました。頭の中は、なんとしても子供だけは立派に育てなくてはと、ただ夢中でした。ウエートレス、仲居というろな職場で働き、悲しい時、苦しい時、ああ、主人が生きていてくれたらと、つくづく主人の有難さを身にしみて感じました。子供の前では、決して涙を見せまいと、学校へ行つたあととか、床の中で声をふり返つて泣いたものでした。

この八年間をふり返つてみますと、朝から夜中まで働いても、女の給料は



現在私は、パート程度でほとんど家
におりますが、優しい子供達にめぐま
れ、幸福に暮しています。

一日一日を大切にして、これからも
元気に生きます。

(二) 伸

お蔭様で、元気な毎日を送っています。先日（前日）の母の日に神戸の次男よりガーネットのネックレスと指輪のセットを送ってきました。思わぬことだけに嬉しくて、まず仏様にそなえて主人に報告し、箱から出したり入れたり何回も何回もしてしまいました。

嬉しさのあまり、私の姉妹に電話で
しらせました。話しているうち涙が出

漁船海難遺兒育英事業十周年

を迎えるにあたって



高木雄次郎

昭和四十四年から募金運動を開始し、漁船海難遺児育英会が設立され、来年は十周年を迎えます。

をもつて組織運動を実践した成果であることと信じております。

第二に、今後海難遺児を生まないよう各浜があげて「海難防止対策」に取組む必要があることです。

この十年間に全国の漁協系統のため
ない努力、また、関連企業のおし
ない協力、国の指導等により、育英会
の基本財産は十三億円とかなり充実し
てきております。これに伴い事業内容
も、前年度では高校生に対する奨学貸
金月額を五千元又は七千元に引上げ

組む必要があることです。

自然を相手の海上労働だけに、どの産業よりも、船主・乗組員は事故の防止に万全を期さねばなりません。このためには、海難防止の教育を徹底し、「海難事故は必ず防ぐ」という日々の努力が大切であります。

本年四月からは学資給与金を小学生月額二千円、中学生二千五百円に増額改善されたことは、関係者として非常にうれしく思います。

漁船の設備は、年々よくなり、乗組員の技術も向上しているとは思いますが、海難事故があとをたっておりません。これには、たとえば、陸上の高速

しかしながら、まだまだ低福祉といわれる我が国の社会保障の中で残された御遺族にとっては、一層の改善を望まねばならないわけにはまいりません。

道路での自動車の走行中、安全ベルトを着装率が二割程度といわれ、また、磨耗したタイヤをそのまま使用したり、中には車輛不備のまま走行し、これが事故の原因となっていると県警は発表

育英事業の担当者の一として、今後育英事業がより充実したものとなるよう念願し、現在感じている点を一、一申しのべます。

しておりますが、これと同じようなことが、漁船にはないといえるでしょうか。

これ以上、悲惨な海難を繰り返し、遺児をふやしてはならない。早く無事故

本会事業のうち、小学生、中学生を対象にしている学資給与事業が、日本船舶振興会の本年度補助対象に決定し内示がありました。

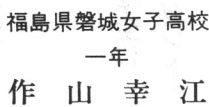
本会としては、一日も早く改善しなければならぬと苦慮していた学資給与事業の改善にふみ切る大きな力となりましたことを報告し、振興会に対し厚くお礼申し上げます。

日本船舶振興会

＝補助対象に決定＝

本会事業のうち、小学生、中学生を対象にしている学資給与事業が、日本船舶振興会の本年度補助対象に決定し、内示がありました。

わたしは頑張ります



わたしの家族が、母とわたしだけになって、もう七年がたちます。

わたしの父は、七年前に船で遭難しました（昭和四十七年三月三十一日、北洋底びき網漁船、乗組員二十五名、釧路港へ帰港途中遭難）。その時、わたしは小学二年生、それが今は高校生です。時の流れの早さを強く感じます。この七年の間には、多くのことがありました。楽しかったこと、悲しかったこと、父がいたらなあ——と思うこと

わたしは、今、幸福です。まわりに
 はいいい人たちがたくさんいるし、それ
 に母もわたしも健康であるから。自分
 を不幸だと思つて生活したら、それこそ
 不幸なことではないでしょう。わたしは
 不幸になりたくありません。わたしは
 父がいなくても幸せです。そう思つて
 暮らしています。だから、わたしは幸
 福です。

高校生になった今、その幸せの中で精一ぱいのことをしたい。そしてこの三年間の高校生活を、本当に意義あるものにしたいたいと思っています。

父は、このわたしを影ながら見守っていてくれると思います。

母には、まだまだ心配をかけると思いますが、私も、協力していきまします。そして、二人で父の分まで頑張ります。

970—03 福島県いわき市永崎字
橋出二番地

御遺族にとつては、一層の改善を望んでおられることと、感じないわけにはまいりません。

育英事業の担当者の一人として、今後育英事業がより充実したものとなるよう念願し、現在感じている点を一、一申しのべます。

第一は、育英事業は漁業協同運動の成果であり、高く評価できるものであることです。海難遺児を励ます運動であること、全国の漁業者が強い連帯感のもとに、「組合理念の相互扶助」の意識

耗したタイヤをそのまま使用したり中には車輛不備のまま走行し、これが事故の原因となつてゐると県警は発表しておりすが、これと同じようなことが、漁船にはないといえるでしょうか。

これ以上、悲惨な海難を繰り返し、遺児をふやしてはならない。早く無事故の体制をつくり上げたいものです。これは、海難遺児を励ます運動の最終目的であります。担当者の一入として、この実現を願ひ努力をつづけてまいります。

